

令和元年度 山形県行政支出点検・行政改革推進委員会 第1回会議 委員の意見概要

◇ 日 時 令和元年度8月1日(木) 9:30~11:30

◇ 会 場 eミーティングルーム

◇ 出席委員

委員長 砂田洋志

委員 尾形律子、小関健太郎、田中達彦、中鉢美佳、樋口恵佳、山上絵美
(欠席:水戸吉一)

助言者 小口裕之

〈五十音順、敬称略〉

■委員の主な意見等

議事(1) 山形県行財政改革推進プランの取組状況について

議事(2) 山形県財政の状況について

(小関健太郎委員)

山形県行財政改革推進プランの目標値と実績について、パーセント表記のものについては、実数を添えて表記した方が県民は分かりやすい。

(砂田洋志委員長)

調整基金残高が減少し、厳しい財政状況であることを県民に伝えながら、事務事業見直しに継続して取り組んでほしい。

ま と め

(砂田洋志委員長)

委員の意見について、県は真摯に受け止め、できるものから進めてほしい。

議事(3) 「事務事業評価(事業レベルのPDCA)」について

◆事務事業評価全体について

(樋口恵佳委員)

事業評価全体に関わることだが、A、B、Cという評価と併せて、その指標となる数字を表記した方が県民は分かりやすい。

(田中達彦委員)

事業評価全体に関わることだが、評価対象年度の事業内容だけでなく、過去の経緯も示した方が議論が深まると思う。

◆総務部「『やまがたの誇り』戦略広報推進事業費」について

(中鉢美佳委員)

首都圏等のメディアとの関係づくりは、非常に重要だと思う。県内のニュースを他県でも取り上げてもらう取組みを行うと、より山形の良さが全国的に広がっていくのではないか。

(小関健太郎委員)

県の情報を国内、海外に配信した取組みについて、それに対して、どのくらいのアクセスがあり、それはどのようなセグメントの方だったのか、それは県が望むセグメントの方だったのかを分析することが重要である。

◆企画振興部「県・市町村連携加速事業費」について

(小口裕之委員)

買い物支援事業について、県と市町村が一体となって取り組むのはよいが、市町村はそれぞれ状況が違っているので、それを踏まえたうえで県が支援してほしい。

◆企画振興部「ICT イノベーション創出事業費（ICT 実践人材育成事業）」について

(山上絵美委員)

人材育成事業には、県が期待する人材が集まったのか。ICTの実践的な人材が今後育っていくわけだが、県外に行かれてしまわないように、人材の県内への定着についても留意してほしい。

(小関健太郎委員)

人材に関しては、人材育成のための教育以外にも、新卒者を県外に流出させないように技術を持った人の県内就職を斡旋するとか、県外からプロフェッショナル人材を誘致する方法もあるので、併せて推進してほしい。

◆環境エネルギー部「エネルギー地産地消モデル事業費」について

(砂田洋志委員長)

エネルギー地産地消モデル推進事業については、平成30年度は成果実績が目標を達成できなかったもので、今後は目標達成できるように頑張ってもらいたい。

ま と め

(砂田洋志委員長)

各事業について、本日の意見を参考にしながら、進めていただきたい。